



なんでやねん



発行責任者 倉橋 忠

日本の社会保障と財政をどうすればよいか GLTで考えよう

【課題1】

これからの日本の社会保障の在り方について、次のAからDの意見から、最も良いと思うものを1つ選び、グループの中で理由もふくめて意見交換しましょう。

- A 北ヨーロッパの国々のように社会保障を手厚くし、その分、国民の負担も大きくすべきである。
- B 今の社会保障の水準を維持すべきであり、そのための負担の増加はやむを得ない。
- C 今の負担の水準を維持すべきであり、そのための社会保障の切り下げはやむを得ない。
- D アメリカなどのように、国民の負担を少なくし、その分、社会保障を切り上げるべきである。

【課題2】

社会保障の給付と負担は、どのように配分し、分担されるべきでしょうか。

次の①から③の人々の意見を参考にして考えましょう。そのとき、「効率」と「公正」の観点をふまえるようにしましょう。



- ① 子どもを育てるのにはお金がかかります。少子化を改善するために、子育て世代への手当を厚くして、負担は軽くしてほしいです。



- ② 最近は若者の就職先が少なく、雇用が不安定です。働く人々たちへの支援を充実するとともに、負担はどの世代も平等にしてほしいです。



- ③ 仕事を定年退職すると、生活費を年金にたよらざるを得ません。年金や介護を充実して、高齢者への負担は軽くしてほしいです。

※ この2つの課題は、教科書『新たらしい社会 公民』（東京書籍2016）p.153から転載しました。